

当パンフレットは一部を改定し臨時に掲載したものです。最新版の掲載を予定しています。

トコジラミに注意

寝ているひとを吸血する！

トコジラミはシラミの仲間ではありません。別名、ナンキンムシとも言われています。主に夜間に活動して、寝ている人を刺して吸血します。刺傷部位は手足・首などの露出部が多く、くりかえし吸血されることにより痒みが出てきます。あまりの痒さで熟睡することができず精神的にダメージを受ける人がいます。(個人差があります)。



成虫 約5～8mm (下部先端は卵)



本に付いているトコジラミの糞(血糞)

(本を購入する・図書館などから本を借りるときは注意)



ほぼ実物大写真 (4匹の幼虫)

1～5mm

※トコジラミはゴキブリの子どもと見間違えやすい

※本文の無断改変使用を禁じます。全文のコピー使用自由です。

※引用する場合はクレジット等を付けてください。

※当パンフレットは営業・販売目的での使用を禁じます。

※当パンフレットを多数印刷して配布する場合はご一報ください。

資料：豊島区池袋保健所(豊島区保健所)パンフレット としま

新潟市保健所
環境衛生課

宿泊施設等からの相談が増加しています

近年、池袋保健所への相談件数が増加しています。海外では発生の多い地域もあり、ホテルや寝台車などの発生例では休業するなどの深刻な事態が見られます。宿泊者などのカバンなどの持ち物などから持ち込まれてしまうことがありますので、宿泊施設の方は日頃の危機管理のひとつとして、発生時の対応を知っておいてください。特に**最初の発生時の対応を間違えると被害が拡大する**ばかりか、施設運営にも大きな影響がでますのでご注意ください。我が国でも大手ホテルで、駆除がうまくできずに数ヶ月間空き部屋にしていた例があります。被害が他室に広がった場合は大きな損失です。万一、施設に発生した場合は、管理者だけでなく従業員も含めた施設の対応が必要です。日頃からトコジラミのことを知っておきましょう。

なお、宿泊施設や寮のほか、人が集まる・利用する施設はすべて、たとえばサウナ等の浴場等も注意が必要です。

●足の刺傷被害



●カバンのベルトの折り目に潜んでいるトコジラミ



トコジラミの形態と生態

トコジラミはかなり扁平です。その特徴をいかして狭いすき間に潜むことが可能です。潜み場所の条件がよければ、無吸血でも半年以上も生きることがあります。じっと隠れて吸血相手を待っていることができるわけです。この性質を知らないと被害を拡大させ、被害を防止できないことがあります。下記はトコジラミの形態と生態です。

【形態と生態】

- 成虫の大きさは約5～8mm
- 成虫の色は褐色
- 主に露出している足や手、首等を刺して吸血する。
- 雄、雌とも吸血する
- 主に夜間(寝ているとき)に活動・吸血する。
- 成虫、幼虫とも吸血する。
- 成虫は約1年生きる。●吸血しなくても条件により6ヶ月以上生きることがある。
- 成虫は一生の間に約200個の卵を産む
- トコジラミは狭い隙間に潜むのが大好き
- トコジラミは強い光を嫌う
- 潜み場所には糞(血糞)が見られる。糞が多い所には卵・幼虫・成虫も見られる。
- 幼虫の形態は、成虫と殆ど同じで小さいだけ
- 孵化幼虫は約1～2mmと小さい
- 幼虫は約1～3ヶ月で成虫になる(5回脱皮)。
- 卵は約1週間で孵化する。

トコジラミの侵入・好きな潜み場所

トコジラミは旅行者のカバンや荷物に潜んで持ち込まれたり、家具(特に中古)・本などに潜んで持ち込まれたりします。持ち込まれてしまった場合は、施設の構造や家具類などのほか、人の生活様式などにあわせて、トコジラミの潜み場所が多様化します。

トコジラミは「暗い・温かい・狭いすき間」が大好きです(ゴキブリの習性と似ています)。潜み場所を見つける方法は、トコジラミが好きな場所を中心に**濃褐色の糞(血糞)を目安にさがします(写真参照)**。被害のあった室内・家具類等のすき間は、徹底的して清掃・目張り(コーキング等)や殺虫剤処理・熱処理処理などを行います。

具体的な潜み場所例

- **ベッド・その周り**(ベッド下・つなぎ目の隙間・ベッド裏ホチキス打ち部)・**布団など寝具類**
- **床、壁、柱、床板のすき間**・壁と床板の接合部・柱の接合部すき間・壁紙のはがれすき間
- じゅうたん、カーペット端下 ● 畳と畳の間 ● 家具類のすき間(テーブル・椅子など)
- 電気製品の下(特に発熱する物)・取り付け部・コード引き込み部(スタンド・**テレビ**など)
- すき間以外では室温が高い上部(壁と天井のコーナー、隅近)・薄暗いところ
- **カーテン**(折り目・縫い目付近・特に上部) ● **ダンボール**(ダンボール構造部の中)
- 絵画等の額縁裏、すき間 ● 本自体、本と本の間・書籍棚のすき間
- 寝室付近の手荷物カバン等の置場のすき間に潜むことがある。カバンなどでは、折り目の間や肩掛けベルトのすき間などに潜むことがある。
- 壁の上部や、薄暗い所にいることがある。殺虫剤処理しない場所、たとえば寝具類(毛布・布団・衣類)・壁などにいる例がある。万年布団や積み重ねた毛布などは潜み場所として要注意。



黒いゴマのようなものがトコジラミの糞(血糞)



大手ホテルの例ですが、駆除がうまくできずに数ヶ月間空き部屋にしていたことがあります。被害が他室に広がった場合は大きな損失です。日頃からのリスク管理として、トコジラミのことを知っておきましょう。

発生したら

日常業務の中での観察や対応が大切

各施設の構造や状況が異なりますので、管理者や従業員の細かな対応がないと、たとえ専門業者に依頼しても駆除はスムーズに進みません。また、被害が他室に広がらないよう早急の対応が必要です。被害が発生したら「駆除の基本」や次のことを参考にして日常業務の中で観察や処置を行い、被害者に対しては、敏速に対処・対応ができるよう日頃から従業員の方と共に対策を整えておきましょう。

施設での注意・平常時からの観察

【ポイント】早期発見・平常時からの侵入検査・業者まかせにしない

- 「潜み場所例」等を参考に従業員等による調査・観察を行う。日常業務の中で観察(潜み場所を探す)。
- 他室への被害拡大防止として、被害室内からの家具類などの移動に注意する。

ベッド等の寝具類・テレビ・スタンド等の電気製品・カーテン等の調度品や荷物など。倉庫などに保管する場合でもトコジラミは無吸血で6ヶ月以上生きることがあるので注意する。また、被害のない室内用の調度品といっしょに保管しない。毛布類などの寝具類の交換や移動先・置き場所(布団部屋・リネン室)にも注意する。被害室内の寝具類(シーツ等)交換時に廊下に直接置かない(ビニール袋に入れて確り結ぶ・寝具を抱えない)。各室内に配置の本などにも注意する。

- 被害室内や被害家具類等の保管場所のダンボール類はトコジラミの巣になるので廃棄する。
- 掃除機で吸い取った後の掃除機の置き場所に注意する(吸い取ったゴミはそのままにしない。移動先の掃除機から他室に広がった事例がある)。

駆除の基本①②③④⑤⑥は併せて行う

トコジラミの血糞が見つかったら、迷わず駆除実績のある専門業者に依頼する。

駆除の専門業者に駆除を依頼しても、日常から従業員などが、トコジラミの潜み場所を探す対応することが必要である。遅れば遅れるほど被害は拡大する。

①きめ細かな清掃(掃除機を主力)を行う。特に隅やすき間はコーナー用の吸い取り口を使って吸い取る。掃除機で吸い取ったゴミはそのままにしないで処分する。

②すき間を無くす。目張り・すき間を徹底的に埋める(目張りの場合は端の切れ目に注意)。

わずかなすき間も見逃さないように出来る限りコーキング剤などで埋める。

③トコジラミの潜み場所を中心に殺虫剤を撒布する。特にすき間への注入を主力として行う。

すき間や潜み場所などを中心に殺虫剤を注入する(一般に市販されているピレスロイド系殺虫剤は効果が無い場合があるので注意)。

※殺虫剤に強いトコジラミが見られるので殺虫剤撒布後の効果を観察する(薬剤選定に役立つ)。

④素人による「くん煙剤」の使用はしない方がよい。被害が拡大する。

すき間が多い室内などは、くん煙剤の処置でトコジラミが他室に広がる可能性がある。

一般的に多く市販されているピレスロイド系殺虫剤に強いトコジラミが確認されている。

⑤殺虫剤を使用したら、経過観察を行い、効果が出ているのか確かめる。

専門業者に依頼していても、従業員等も業務の中で協力し合って処置後の効果観察を行う。

⑥熱処理：寝具類・カーテン・衣類などは熱処理がある。スチーム・熱湯・乾燥車の利用等

※化学物質過敏症の方への配慮も怠らずに。